

ZANDEN Model 120 の展開(94) ーベーターヴェンを聴き直す(29)ー

1. 始めに

前報(93)に引き続き、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤を聴き直していきます。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス/バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス/バランス変換プラグ)→(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。また、LP-12 の軸受けをカルーセルに更新しています。

また、TruPhase のヴォリュームに、ヴォリュームアキュライザーの導入(2)で報告したヴォリュームアキュライザーVRA-7 を適用しています。

音源としては、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤から選んでいきます。

今回は、ベーターヴェンの交響曲第 7 番を選定しました。

LONDON SLA1079

交響曲第 7 番イ長調作品 92

コリオラン序曲作品 62

ゲオルグ・ショルティ指揮シカゴ交響楽団

これらは、下記で聴いています。

[アナログ再構成後の活用\(49\)](#)

3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、ZANDEN 社から提供されたリストを参考にして選択していきます

す。

上記ショルティ盤は、TELDEC、逆相、第4時定数 High で聴いていきます。

交響曲第7番のこれまでの印象では、ショルティ一流の豪快なベートーヴェンですが、少し粗い印象が残っていました。今回は、そういったところがかなり払拭されて緻密さも感じられるようになりました。第2楽章の美しい表情の表現も向上していますし、終楽章に向けて歯切れよく進んでいきます。

コリオラン序曲は、ドラマティックな劇場音楽の表情が浮かびあがってきます。

4. まとめ

これまでの試聴同様、前報(24)で報告しましたように ZANDEN Model 120 の導入、さらに、VRA-7 の効果も加わって、上記の曲の演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上